

「肝胆膵疾患患者における線維化と発癌に対する新規糖鎖マーカーの開発と性能評価」に
参加された患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	肝線維化糖鎖バイオマーカーM2BPGiの「発がん」に関するサブタイプ同定に関する検討
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(担当科) 内科学講座(肝胆膵内科) (職名) 教授 (氏名) 伊藤清顕
試料・情報の利用目的 及び利用方法	〔利用目的〕 肝硬変の指標として使用される M2BPGi には、「線維化」以外に「発がん」と関連する報告がなされています。そこで、M2BPGi を詳細な解析を行うことで「発がん」を示唆する特徴的な変化を解析し、「発がん」に関与するタイプが存在するかどうかを検討します。その結果、早期に的確な診療が可能となり、患者さんの診断や治療に貢献したいと思います。 〔対象となる患者さん〕 「肝胆膵疾患患者における線維化と発癌に対する新規糖鎖マーカーの開発と性能評価」(承認番号 2023-087)に参加された方のうち、C型肝炎に対して直接作用型抗ウイルス薬が投与された後 SVR が達成された患者さん 〔研究期間〕 研究実施承認日 ～ 2029 年 3 月 31 日 〔利用方法〕 血液から分離した血清を用いて、「発がん」を示唆する特徴的な変化を解析し、「発がん」に関与するタイプが存在するかどうかを検討します。 ご希望があれば、他の患者さんの情報保護やこの研究に支障が生じない範囲内で、研究の計画書の内容を見ることができます。下記問い合わせ先まで申し出てください。 〔他の機関へ提供される場合はその方法〕 試料や情報は個人情報を削除し、研究用の識別番号を付して提供します。
利用又は提供する試	試料：血清

料・情報の項目	情報：診療情報（血液検査結果）
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	国立国際医療研究センター感染病態研究部 テニユアトラック部長 杉山真也
提供する試料・情報の取得の方法	試料：保存血清を必要量提供します。 情報：電子カルテから診療情報を取得し提供します。
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名	国立国際医療研究センター感染病態研究部 テニユアトラック部長 杉山真也
利用する者の範囲	国立国際医療研究センター感染病態研究部 テニユアトラック部長 杉山真也
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2028年8月31日までに郵送, 電話等により下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部内科学講座（肝胆膵内科） 担当者：（職名）教授 （氏名）伊藤清顕 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 23486）